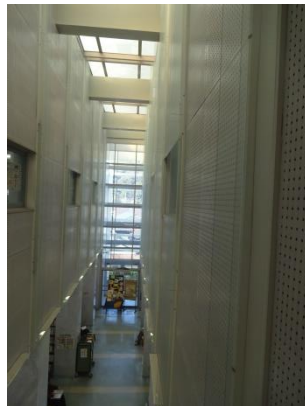


## 2017年1月29日 午前 小牧市立図書館見学

小牧市立図書館本館は、小牧駅から歴史遺跡の小牧山に行く途中の、駅から徒歩10分くらいのところにあります。建物は、象設計集団による設計建築で、当時の最先端技術が盛り込まれているが、デザイン重視のきれいな外観がある。現在は傷みがひどく、このまま使い続けることはできない。そこで、本館をどこに作りなおすか、どのような形態で運営するかが大きな問題となっている。現在は、直営で一部委託（TRC）。7人の職員が管理運営を担い、50人の委託管理の職員が日々の業務を行っている。委託の人たちは、10年くらいいる職員(3割くらい)と半年から1年で変わる若い人たちに分かれる。有資格者は6割。



(図書館の外観、階段の上に入り口)



(吹き抜けの上はドーム状の窓)



(児童書コーナー、階段あり)



(移動図書館の部屋:

各団体向けに配本準備)



(閉架書庫の中の様子)



(ブックスタートのための書籍の袋)

## えほん図書館 (小牧駅の近くのビル、ラピオの中に入っている) の見学

午後から行われるシンポジウムの会場がラピオの中だったので、えほん図書館も見学。



ゆったりとしたスペースに、子どもがわかりやすいグループに分けて、表紙を見せて本が並べられているので、絵本を探しやすいように思いました。ただ、週末の割には利用者が少ないように思いました。ここもカウンターにいるのは皆委託の職員のような感じでした。 鈴木真佐世